

平成17年度

第1回理事会 議事録

1. 会議名 平成17年度「第1回理事会」
2. 日時 平成17年4月19日（火）18時30分～20時00分
3. 場所 麻布霞会館（東京都港区西麻布3-2-32）
4. 出席理事 二木 英徳（会長）、朝倉 正昭（副会長）、高橋 明（副会長）、
福本 隆（副会長）、荒井 隆（専務理事）、石崎 朔子（常務理事）、
関田史保子（常務理事）、渡辺 守成（常務理事）、秋山エリカ（理事）、
池田真喜子（理事）、岩本 晃（理事）、上村 郁子（理事）、
岡 久留実（理事）、佐藤 昌子（理事）、崇島 慎一（理事）、
谷口 裕代（理事）、谷原 誠（理事）、橋本 千波（理事）、
藤島八重子（理事）、山崎 浩子（理事）、
田中 元（監事）、横田 章（監事）、
以上22名（うち委任状出席8名）
欠席理事 0名
その他出席者 0名
5. 議長 社団法人 日本新体操連盟・定款第24条第2項により議長は二木英徳会長が務めた。
6. 議事録署名人決定 定款第32条により、議長は議場に諮り、議事録署名人を山崎理事、佐藤理事を指名した。
7. 審議事項
第1号議案 **平成17年度第1回総会（平成16年度報告）について**
定款第27条関連事項（説明者：渡辺守成常務理事）

総会が年2回開催することなど定款にそって行われること及び、
開催日時 2005年4月26日 午前11時
開催場所 麻布霞会館（東京都港区西麻布3-2-32）
で開催すること。また総会で報告する内容として昨年度登録、大会・セミナー等実施事業、収支決算、表彰選手の報告をする旨が説明された。また認定制度など実施できていない事業があるため今後全て実施できるようにする必要性も合わせて説明された。収支決算について以下の質疑が行われた後原案通り承認された。
質 疑
Q（二木会長）：補助金はどうなっているのか？
A（渡辺常務理事）：補助金は毎年申請しているが昨年は却下された。17年度は全日本新体操クラブ団体選手権でSSF（笹川スポーツ財団）から100万円の補助金が出ることになっている。
（山崎理事）：SSFではプログラム事業というものに力を入れている。同じ事業には数年の補助でうち切るなど簡単なルールがある。

指導者育成について <定款第5条第2項関連事項>

また、事業報告にあわせ3月28日から4月3日までウクライナにて開催された海外セミナーについて帯同理事の福本副会長より以下の説明がされた。ウクライナの政情不安の関係で最初はスケジュールどおり進まなかった。ウクライナの物価高騰で予算どおり実施するのが難しくなっている。受け入れ先のデルギナ・スクールから今回訪れた選手たちの筋力、バレエなどの基礎ができていないことが指摘され、デルギナ・スクールで夏に開催予定の合宿にウクライナ人の選手と同様に厳しく練習させてもよいのであれば日本人選手を受け入れてもいいという話があった事が報告された。海外セミナーは赤字になっている上に相手国の物価が高くなってきているので今後開催方法を検討していくこととなった。

第2号議案 個人情報保護法対策について

定款第5条第10項関連事項（説明者：渡辺守成常務理事）

個人情報保護法が平成17年4月1日から施行され本連盟としても同法に沿った対応が必要である説明がされ、個人情報保護方針及び個人情報保護ポリシー案が提出された。文言の訂正が行われた後承認された。また、今後会員、一般の方から問い合わせがあった時の実務規則を作成すること、及び情報保護には理事、監事、事務局員含めて慎重に取り扱うこと、加盟者にも情報保護の推進をしていくことが決まった。

第3号議案 その他について

その他については提案されなかった。

8. 報告事項

(1) 第7回全日本新体操チャイルド選手権・第4回全日本新体操キッズコンテスト

アンケート結果

定款第5条関連事項（説明者：渡辺守成常務理事）

昨年度開催された上記大会のアンケート集計が終わり集計結果を報告した。参加者からの不満は、大会期間が長いということについての意見が多かったので、今後参加者が増えてきた場合も想定し、大会の開催方法を検討していく事となった。

9. 閉会 議長は、議場に諮り、報告事項、審議事項の終了を確認し、20時00分に閉会を宣言した。

この議事録が正確であることを証するため、議長ならびに議事録署名人は次に署名押印する。

平成17年4月19日

平成17年度 第1回理事会

議 長 二 木 英 徳

議事録署名人 山 崎 浩 子

同 佐 藤 昌 子